

第1回静岡市水道料金等懇話会会議録

日 時	平成19年6月12日（火）午前10時00分～午前11時45分
場 所	静岡市役所清水庁舎3階 313会議室
出席委員 （五十音順）	青山委員、磯部委員、糸賀委員、内野委員、神田委員、久保田委員、櫻田委員、佐藤（京）委員、佐藤（伸）委員、鈴木委員、仲澤委員、藤井委員、森委員
事務局	公営企業管理者、企業局次長、水道部長、水道総務課長、営業課長、水道建設課長、水道維持課長、参与兼水道施設課長、参与兼水質管理課長、簡易水道課長、下水道部参与兼下水道総務課長、外11名

1 静岡市公営企業管理者あいさつ

2 委嘱状交付

3 委員紹介

4 事務局紹介

5 会長選任

- ・鈴木委員を推薦する意見が出され、全会一致で鈴木委員が会長に選任された。
- ・鈴木会長により内野委員が会長職務代理者に指名された。
- ・会議録の内容確認は、会長と委員の2名で署名することとし、委員は五十音順で持ち回りとなった。

6 議事

(1) 静岡市水道料金等懇話会設置目的等について

(2) 静岡市水道事業の概要、現状及び課題について

(3) 静岡市水道事業財政運営の状況について

(4) 1市3制度となっている水道料金体系について

(5) その他 給水装置の審査・検査手数料について

- ・事務局から一括説明

- ・意見、質疑応答

○企業債の残高はいくらか。(糸賀委員)

→平成18年度末で約410億円。

○減価償却の方法は。(糸賀委員)

→旧静岡市は定率法で旧清水市は定額法であったが、合併後は定額法とした。

○水道管の耐用年数はどれくらいか。(糸賀委員)

→配水管は40年。

- 料金の一元化を、なぜ今やるのか。(糸賀委員)
→静岡・清水の合併協議において当分の間は2制度とした。合併後に基本構想・基本計画を策定し、それに基づいて一元化に向けての懇話会を設置した。
- 13年度(95,015,197 m³)と14年度(93,768,714 m³)の年間総配水量の違いについて、どのような原因が考えられるか。(藤井委員)
→配水量は気候に影響される部分が多いが、詳細については次回回答する。
- 一般家庭での平均的な使用量はどれくらいか。(藤井委員)
→1ヶ月で20 m³から30 m³の間が多い。
- 有収率が全国平均や政令市平均に比較して低いようだが、経営悪化の要因となっているのではないか。(青山委員)
→漏水調査・修繕(古い水道管の取替え)を強化して有収率を高めるように努めている。
- 建設事業の進捗状況はどのようになっているか。(神田委員)
→南部ルートと門屋浄水場急速ろ過施設は完成している。
水質試験センターと和田島浄水場は今年度中に完成する見込みであり、蒲原第3浄水場の改修については、既に実施設計を完了し、現在入札が行われようとしている。その他の事業も資料に記載のとおり順調に進行中である。
- サービスセンターの利用状況は。(神田委員)
→本年2月の開設以来、一日平均の利用件数は、2月119件、3月200件、4月130件、5月133件となっており、サービス向上につながっていると考えている。
- 口径別と用途別に料金体系が異なっているが、一元化にあたっての問題点は。(神田委員)
→料金徴収のシステム変更などが必要となると考えている。
- 旧静岡市でも平成13年度以前は用途別の料金体系だったと思うが、なぜ口径別に変更したのか。(藤井委員)
→家庭用と業務用の区別については判定が難しく、また、途中で用途変更した場合の届出が提出されないなど、不都合があるため口径別の料金体系とした。
- 旧清水市の「日本平観光地給水用」は、いつから設定されたのか。(藤井委員)
→次回に回答する。
- 水道料金の未収金はいくらか。ガスなどに比べ、徴収が甘いのではないか。(糸賀委員)
→未収金は納期未到来の分を含め、平成16年度で約9億5千万円、平成17年度で約14億4千万円である。
給水を停止すると料金を納めてもらえることが多いが、水道は直接生命にかかわるも

のであり、慎重にならざるを得ない。

○3地区を比較したグラフは、誤解される恐れがあるのではないか。

配布された資料は公開されるのか。(久保田委員)

→現状の説明資料として料金体系をグラフ化したものであるが、今後の資料についてはさらに精査していく。

配布資料はホームページで公開する。

○使用水量の減少は資源や環境面から望ましいことであると思うが、料金収入も減少する。

企業局では(収入減につながる)節水のアイデアを広報しているが、今後はどうするのか。(佐藤伸委員)

→節水のアイデアなどの広報は今後も継続していく。

・会長提案により、次回の会議で再度今回の資料についての質問や意見を受け付けることとなった。

会議録確認

会長署名

鈴木学

委員署名

磯部肇